駆除と情報提供にご協力をお願いします

樹木を枯らす外来カミキリにご注意を

クビアカツヤカミキリ
-Aromia bungii-

・東アジア原産、カミキリムシ科の外来生物。
・全体的に光沢のある黒色、胸部（クビ部分） のみ赤いことが特徴。
・体長2-4cm・6月から8月に発生する。
・繁殖力がとても高く、被害が大きいことから特定外来生物に指定されている。

フラス拡大図

・サクラ、モモ、ハナモモ、スモモ等、バラ科の樹木の幹や枝の中を食い荒らし、枯死や倒木等の被害を起こす。
・幼虫はフンと木くずが混ざった**フラス**と呼ばれる物を排泄する。

※被害はフラスの有無で確認ができます。フラスを発見した場合は薬剤の樹幹注入による対策が推奨されます。（薬剤一例：ウッドスター、リバイブ）
※特定外来生物は**生きた状態での移動、飼育等が法律で禁止**されており、違反した場合**懲役又は罰金**が科せられます。**見つけたらその場で踏む等して駆除してください。**

ツヤハダゴマダラカミキリ
-Anoplophora glabripennis-

・中国原産、カミキリムシ科の外来生物
・全体的に光沢のある黒色、黒と淡青の縞模様が特徴。在来のゴマダラカミキリと酷似している。
・体長2-3.5cm・5月から10月に発生する。
・クビアカ同様特定外来生物に指定されている。

・トチノキ、カツラ、アキニレ等様々な広葉樹の内部を食い荒らし、枯死や倒木等の被害を起こす。

産卵痕

※被害は樹木に発生する丸い産卵痕が目印になります。産卵痕の近くにいるゴマダラカミキリは外来種の疑いがあります。
※特定外来生物は**生きた状態での移動、飼育等が法律で禁止**されており、違反した場合**懲役又は罰金**が科せられます。**見つけたらその場で踏む等して駆除してください。**

クビアカエゥ

ツヤハダエゥ

画像出典：埼玉県環境科学国際センター（pref.saitama.lg.jp/cess/center/kubiaka_freeimage.html）

画像出典：環境省ホームページ（env.go.jp/content/000149199.pdf）

外来植物の駆除にご協力をお願いします

オオキンケイギク

・北アメリカ原産、キク科の多年草
・中心まで黄色い花と細いヘラ状の葉が特徴。
・草丈は30cm～70cm程。
・繁殖力が強く、生態系を破壊する恐れがある為、**特定外来生物**の指定を受けている。

・開花の最盛期は5月初旬から7月末頃。
・様々な場所で見られるが、特に河川敷きや道端等で多く見られる。
・7月初旬から9月末頃に種子をつける。

※生命力が非常に強い為、根っこごと引き抜くことが効果的です。
※特定外来生物は**生きた状態での移動、栽培等が法律で禁止**されており、違反した場合**懲役又は罰金**が科せられます。**駆除した場合は袋に入れ、その場で2、3日置いてから燃えるゴミに出してください。**

アメリカオニアザミ

・ヨーロッパ原産、キク科の多年草。
・手袋も貫通してしまう非常に鋭い棘が特徴的。
・6月頃から赤紫色の花を咲かせ、7月頃には大きな綿毛を持つ種子を広域に飛ばす。
・繁殖力や危険性から、その他の総合対策外来種に指定されている。
・一個体が大きく、最大で高さ2m程まで成長する。

※接触すると怪我をする可能性が高いので、必ず鎌等を使用して駆除してください。

ナガミヒナゲシ

・ヨーロッパ地中海沿岸原産、ケシ科の1年草。
・ヒナゲシ・ポピーと似たオレンジ色の花を4月から6月に咲かせる。
・1個体から最大で15万粒の種子が作られ繁殖力が高い。
・根から他の植物の生育を妨げる成分を分泌する。

※素手で触るとかぶれる恐れがある為手袋等を使用して駆除してください。

駆除推奨時期(目安)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
オオキンケイギク		●	●	●			
アメリカオニアザミ			●	●	●	●	
ナガミヒナゲシ	●	●					